



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

大学院
地球環境科学研究所
公開講座 2026

環境変化への適応 : 新たな技術と社会的取り組み

Adapting to Environmental Changes: New Technologies and
Social Initiatives

第1回

8/25

(火)

第2回

9/1

(火)

第3回

9/8

(火)

第4回

9/15

(火)

第5回

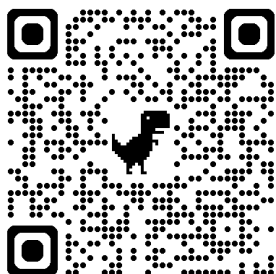
9/24

(木)

18:00 ~ 19:30

参加登録は↓

ハイブリッド開催 (対面+オンライン)



主催 北海道大学
大学院地球環境科学研究所
後援 札幌市教育委員会

150th
HOKKAIDO UNIVERSITY



環境変化への適応 : 新たな技術と社会的取り組み

18:00 ~ 19:30 地球環境科学研究院講義室 & オンライン

第1回
8/25
(火)

水環境保全の課題と取り組み

生物多様性は、私たちの生活を支える重要な要素であり、その保全は私たちの未来を支えるために不可欠です。一方で、身近な自然環境の変化を感じる人が多いのではないのでしょうか。この変化の中で生物多様性を保全・再生する様々なレベルでの取り組みや研究が実施されています。水辺に関わる環境での取り組みを中心に、その概要、課題および進行中の関連最新研究を概説します。



根岸 淳二郎 教授

第2回
9/1
(火)

衛星遠隔計測技術を用いた海洋環境監視

地球の表面積の約70%を占める海洋は、気候変動や生物多様性など、自然現象や人間社会においても重要な役割を果たしています。地球規模で起きうる海洋環境問題に対し、人間社会はどのように対応していけば良いのでしょうか？海洋環境を「知る」（あるいは「評価する」）の部分に着目し、起きている環境変化を把握する術について、現在の地球環境の状況も紹介しながら人工衛星を用いた遠隔計測技術を例に挙げ解説します。



平田 貴文 特任准教授
北極域研究センター

第3回
9/8
(火)

栄養素の持続可能な利用に向けた生物多様性と生態系のつながりの効果

生物の生命活動の維持のために栄養素の摂取が欠かせません。栄養素のなかでも、DHAやEPAといった脂肪酸が注目されていますが、その供給源となる海洋資源は減少し、その利用が危ぶまれています。森・川・海の生物多様性とつながりが栄養素の供給に果たす機能を解説し、天然資源の持続可能な利用について考えます。



目戸 綾乃 助教

第4回
9/15
(火)

多孔性金属錯体MOFを用いた環境浄化

私たちの身の回りでは、水処理や排ガス浄化など、さまざまな場面で多くの孔（あな）をもつ多孔性物質が利用されています。昨年のノーベル化学賞の対象となった多孔性金属錯体MOF（モフ）は、近年注目を集めている新しい多孔性材料です。本講演では、MOFとは何か、その優れた特徴、さらに環境浄化への応用例について、わかりやすく解説します。



野呂 真一郎 教授

第5回
9/24
(木)

将来の脱炭素社会実現に向けたエネルギー・社会システムの転換

現代社会では電気やガスなどエネルギーの利用が欠かせません。太陽光パネルや風力発電所を目にする機会も増えてきましたが、エネルギーの多くは二酸化炭素の排出を伴う化石燃料に頼っています。日本が掲げる2050年に二酸化炭素等の排出をゼロにするという目標達成に向けて、エネルギーの使い方や作り方、社会経済の仕組みをどのように変えていけばいいのでしょうか。最新の将来シミュレーション研究をまじえて解説します。



大城 賢 准教授

環境変化への適応 ：新たな技術と社会的取り組み

公開講座
2026
大学院
地球環境科学研究院



大学院地球環境科学
研究院長
小西 克明

環境への適応とは、生物や人間が置かれた環境条件に応じて行動・構造・生理・思考を変化させ、生存や繁栄を可能にするプロセスを指します。近年、これまでに経験したことのない自然現象、減少する天然資源や聞き慣れない汚染物質の検出など、環境変化が身近で起こっています。これら環境変化に適応した社会を構築・維持するためには、自然現象や化学物質の挙動などを可視化することが重要です。さらに、革新的な技術開発や社会の仕組みの提案やその転換による効果の予測も必要です。本講座では、新たな技術と社会的取り組みがどのように社会の環境変化への適応へと繋がるのか、最新の研究成果を含めてわかりやすく解説します。多くの皆さまのご受講をお待ちしております。

18:00 ~ 19:30 地球環境科学研究院講義室 & オンライン

第1回
8/25
(火)

第2回
9/1
(火)

第3回
9/8
(火)

第4回
9/15
(火)

第5回
9/24
(木)

受講資格 高校生以上または満18歳以上
定員 70名(対面)、100名(オンライン)
受講料 5,000円全5回(一般、大学院生以上)
(大学生・高専生・高校生は無料)

【申込は2段階】

- ① 仮申込(受講登録) : 6月8日(月) ~ 7月13日(月) 【必着】
Google フォームからお申込みください。右のQRコード。
→ <https://forms.gle/u6mJ11iKa4feMdQy7>



Googleフォームからのお申込みができない場合のみ

パンフレットに綴込みの「仮申込書」に記入して裏面書類送付先へメール添付または郵送でお送り下さい。FAXは不可。メール添付の場合は、件名を「公開講座仮申込(仮申込者氏名)」としてください。

- ② 本申込(受講料払込、本申込書提出) : 8月上旬予定
受講の可否が7月末日までに届きます。その後、「本申込み」に必要な書類等を郵送します。同封の受講料振込用紙で金融機関にて受講料を納付の上、手続要領に基づき必要書類を送付してください。
大学生・高専生・高校生は、受講は無料。学生証・生徒手帳のコピーを提出してください。

「本申込み」受理後、受講許可の通知を送付します。

5回のうち3回以上受講して、修了証書をもらおう！

【申込みにあたっての注意事項】（必ずお読みください！）

本公開講座は、遠隔地から参加を希望される方にも配慮し、対面講義の様子をオンラインでも配信するハイブリッド形式で実施します。オンラインで受講される方は、以下の点についてご理解の上での申し込みをお願いします。

1. 講義においては対面参加者を優先させていただきます。そのため、オンライン参加者は、会場での意見交換、実物展示などの体感型講義、質疑応答など、様々な面において、対面参加者と同等の体験を得られない可能性があります。
2. オンライン参加者からの質問は、音声ではなくチャットでお願いすることがあります。
3. 配信には最善を尽くしますが、技術的トラブル等が発生した場合、十分な品質の配信が実施できなかつたり、配信自体が中止されたりする可能性があります。
4. 上記のいずれの事態が発生した場合でも、受講料の返金等の対応は致しかねますので、予めご了承ください。

北海道大学大学院地球環境科学研究院へのアクセス



＜地下鉄南北線利用の場合＞
北12条駅下車 徒歩5分

＜JR利用の場合＞
札幌駅下車（北口）徒歩10分

問い合わせ・書類送付先

北海道大学環境科学事務部（総務担当）
住所：〒060-0810
札幌市北区北10条西5丁目
メール：somu@ees.hokudai.ac.jp